

甲賀土木
事務所

滋賀県道路整備 アクションプログラム 2018



どこに

どんな
道路が

いつまでに
必要か



選択と集中による重点化を図り
地域に真に必要な道路を優先して整備



忍者



信楽焼



東海道松並木



うつくし松



善水寺



甲賀地域は近畿圏と中部圏を結ぶ交通の要衝にあり、近年は新名神高速道路や国道1号バイパス等幹線道路整備の進展により、本県屈指の企業進出が見られる活気ある地域です。

しかし一方では、交通量の増大による渋滞や、大型車が生活道路に流入するなどの課題も発生しており、地域の安全・安心に寄与する道路整備が望まれています。

他府県や隣接する大津湖南地域、東近江地域とのさらなる連携強化も意識しながら、道路の利用状況に応じた、バランスのとれた道路整備が必要です。

道路整備アクションプログラム2018とは

「滋賀県道路整備アクションプログラム2018」は、滋賀県における道路整備の基本方針である「滋賀県道路整備マスタープラン(第2次)」に基づき策定した、将来10年間(2018年度～2027年度)の具体的な道路整備計画です。

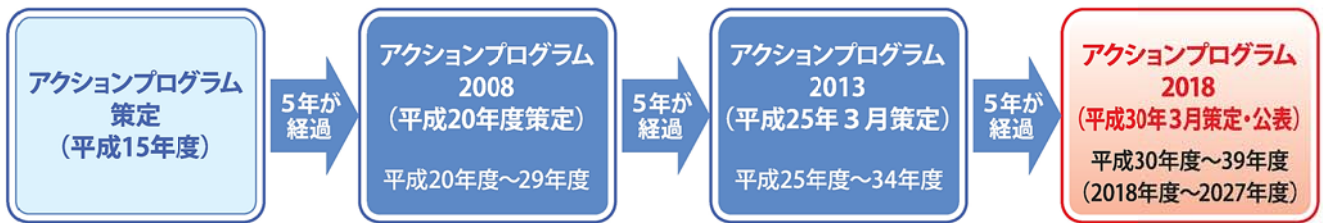
間もなく、本県でも本格的な人口減少局面に入ると予測されており、生産力の低下、地域の過疎化の進展などの課題が懸念される中、道路整備の面でも県の基本構想および国土交通省の施策などを踏まえながら、地域の实情に応じた道路整備を進めていく必要があります。

こうした社会経済情勢の変化を背景に、改築事業・交通安全事業の見直しを行いました。見直しにあたっては事業の重点化を進め、より効果的・効率的な計画となるよう努めるとともに、県下8地域で行った地域ワーキングなどの取り組みを通じて、地域の声を反映させたプログラムとなるよう工夫しています。

アクションプログラム2018見直しの経緯

「滋賀県道路整備アクションプログラム」は、社会経済情勢の変化や新たな政策課題に係る変更要素が生じた場合には適宜見直し、最長でも5年後には見直すこととしています。

平成15年度に最初の計画を策定して以降、アクションプログラム2008、2013と2回の見直しを行っており、今回が3回目の見直しとなります。



アクションプログラム2018見直しの背景

これまで増加が続いていた本県も人口減少局面を迎え、地域の状況・課題に応じた事業展開を図ることが必要です。また、全国的に大規模な災害が頻繁に発生している中で、災害に備えた道路ネットワークの強靱化が求められています。

人口減少を見据えた県土整備

2015年に141.3万人であった本県の人口は、社人研の推計によると、2040年には130.9万人になると予想されています。

豊かな暮らしと地域の活性化に資する道路の整備を着実に進めることで、滋賀県の総合戦略に掲げた人口目標、約137万人(2040年)の達成をしっかりと支えていきます。

幹線道路網の整備が進展

県内ではこの5年間に3箇所スマートインターチェンジが開通し、国道1号などの整備が進みました。さらに今後予定される新名神高速道路の全線開通により、県内外の交流・連携の強化が期待されています。

災害に備えた道路ネットワークの強靱化

近年の気候変動に伴い、災害が頻発・激甚化する中、本県においても平成29年8月の台風5号および10月の台風21号による大雨により、県内各地で通行止めが発生しました。

災害を防ぐ道路整備と共に、被災しても他の道路で速やかに代替の路線が確保できるような、災害に備えた道路ネットワークの強靱化が求められています。

アクションプログラム2018策定の流れ

※滋賀県道路整備マスタープラン(第2次) (平成23年度策定)

滋賀県基本構想の達成に向け
『4つの政策目標』を掲げて道路整備を実施

県内産業の
活性化と
地域文化の交流

誰もが安心・安全に
暮らせる優しい
県土の実現

政策目標を実現する道路ネットワークの形成

- ① 地域間を連絡する環状道路網の形成
- ② 県外との交流を促進する放射状道路の整備
- ③ 地域内での利便を高める幹線道路や生活道路の整備
- ④ 公共交通機関と連携した総合的な交通システムへの支援
- ⑤ 人や自転車を主体としたネットワークの形成

環境負荷の軽減と
個性と潤いのある
生活空間の創造

地域の自立的発展と
不安のない
暮らしの創出

※甲賀地域 地域ワーキング

第1回 平成29年 8月9日(水)
5年間を振り返り、地域の道路、交通の問題点や課題等について意見を伺いました。

第2回 平成29年 9月27日(水)
客観的評価マニュアルにおける地域の重点項目について意見を伺いました。

第3回 平成29年 11月30日(木)
地域の重点項目の決定結果の報告や地域ワーキングでの「地域の声」(案)について意見を伺いました。

第4回 平成29年 12月26日(火)
アクションプログラム2018における掲載箇所(案)について意見を伺いました。



内容

- ◇ 地域課題の抽出や、その課題を踏まえた今後の道路整備に向けて、広く意見を伺う
- ◇ 客観的評価マニュアルにおける地域特性の評価に必要な「地域の重点項目」を選定
- ◇ 今後の道路整備についての「地域の声」※とまとめ

※地域ワーキングで
伺った意見をもとに
まとめた地域課題
やその課題を踏ま
えた今後の道路整
備についての意見

委員

有識者、公募委員、
道路利用者、
市職員等

【甲賀土木事務所管内における **地域の重点項目**】

- I.C.(インターチェンジ)や鉄道駅へのアクセス道路の整備
- 通学路等の整備

具体化

※客観的評価マニュアル(平成29年度一部改訂)

改築事業

バイパス整備や現道拡幅など

▽▽ 5項目で評価 ▽▽

1. 必要性

2. 走行改善効果

3. 進捗状況

交通安全事業(交差点改良)

右折レーンの延長や新設、交差点改良など

4. 事業熟度

5. 地域特性

地域の重点項目

交通安全事業(歩道整備)

自転車歩行者道や歩道の新設・改良

▽▽ 5項目で評価 ▽▽

1. 計画の位置づけ

2. 道路利用状況等

3. 必要性

4. 進捗状況

5. 事業熟度

滋賀県道路整備アクションプログラム 2018

どこに

どんな
道路が

いつまでに
必要か

10年間の具体的な道路の整備計画

≪詳細は中面へ

甲賀土木事務所 道路整備アクションプログラム 2018

道路事業：改築事業

00

整理番号	路線名	工区名	継続	2018~2027		
				前期 2018~2022		※事業化 検討路線
				着手	完了	
①	国道307号	長野バイパス	●			
②	草津伊賀線	吉永・三雲		●		
③	木津信楽線	杉山		●		
④	栗東信楽線	長野				●
⑤	竜王石部線	菩提寺・石部		●		
⑥	甲賀土山線	岩室				●
⑦	土山蒲生近江八幡線	頓宮				●
⑧	甲南阿山伊賀線	新治	●			
⑨	水口甲南線	稗谷・葛木	●			
⑩	杉谷嵯峨線	稗谷・深川	●			
⑪	岩室神線	大原上田				●
⑫	増田水口線	松尾				●
⑬	泉水口線	水口	●			
⑭	岩室北土山線	岩室	●		●	

道路事業：交通安全事業（歩道整備）

00

整理番号	路線名	工区名	継続	2018~2027		
				前期 2018~2022		※事業化 検討路線
				着手	完了	
①	国道307号	新町・秋葉				●
②	草津伊賀線	野田・池田	●			
③	草津伊賀線	油日・五反田				●
④	草津伊賀線	三大寺				●
⑤	竜王石部線	菩提寺	●			
⑥	甲賀土山線	鳥居野・小佐治		●		
⑦	野洲甲西線	正福寺				●
⑧	甲南阿山伊賀線	杉谷				●
⑨	東湯舟甲賀線	高嶺・和田	●		●	
⑩	石部草津線	宝来坂		●		
⑪	石部停車場線	石部西・石部中央				●
⑫	小佐治甲南線	小佐治	●		●	
⑬	南土山甲賀線	神・鳥居野				●
⑭	上馬杉野尻線	柑子・野尻				●

道路事業：交通安全事業（交差点改良）

00

整理番号	路線名	工区名	継続	2018~2027		
				前期 2018~2022		※事業化 検討路線
				着手	完了	
①	国道307号	虫生野				●
②	石部草津線	石部中央				●
③	水口竜王線	伴中山		●		
④	泉水口線	泉				●
⑤	山名坂線	山				●

参考掲載

国事業

00

整理番号	路線名	工区名
①	国道1号	水口道路
②	国道1号	栗東水口道路Ⅰ
③	国道1号	栗東水口道路Ⅱ
④	国道307号	信楽道路

市事業

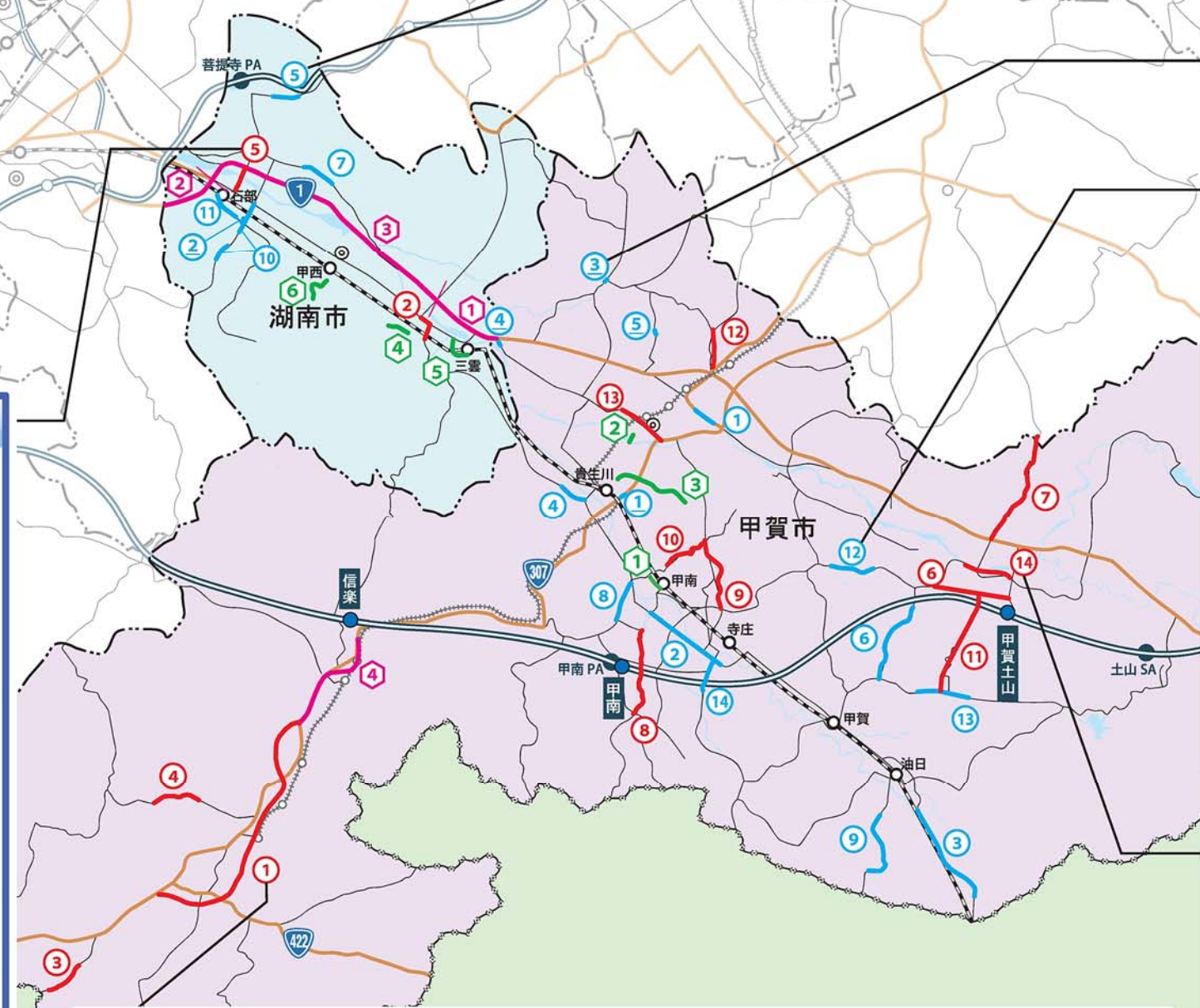
00

整理番号	市町名	路線名	工区名	継続	2018~2027		
					前期 2018~2022		※事業化 検討路線
					着手	完了	
①	甲賀市	(都)甲南駅前線	深川	●			
②		新町・貴生川幹線	内貴橋	●			
③		(仮)虫生野希望ヶ丘線	虫生野		●		
④	湖南市	(仮)吉永山手線	吉永・夏見	●		●	
⑤		三雲駅南線	三雲	●		●	
⑥		甲西駅美松線	平松	●		●	

※ 事業化検討路線：予算の確保状況、他事業の進捗状況および地元との協議調整状況等により事業化を検討していく路線

甲賀土木事務所道路整備アクションプログラム2018箇所図

アクションプログラム2018		アクションプログラム2013	
道路事業	改築事業	14 (箇所)	15 (箇所)
	交通安全事業	歩道整備	14 (箇所)
		交差点改良	5 (箇所)
街路事業	— (箇所)	1 (箇所)	
箇所数: 33 (箇所)		33 (箇所)	



⑤ 竜王石部線 (菩提寺・石部)

●JR石部駅および名神高速道路 竜王インターチェンジへのアクセス改善
整備イメージ



「地域の声」との関連

- 広域交通ネットワークの整備
- 地域の問題を解決する道路整備
- 安全・安心、そして人に優しい道づくり
- 道路の役割に応じた道づくり

⑫ 小佐治甲南線 (小佐治)

●通学路の安全確保のため、歩道を整備

現況



「地域の声」との関連

- 安全・安心、そして人に優しい道づくり

⑭ 岩室北土山線 (岩室)

●新名神高速道路 甲賀土山インターチェンジへのアクセス改善

現在の進捗状況



「地域の声」との関連

- 広域交通ネットワークの整備
- 地域の問題を解決する道路整備
- 安全・安心、そして人に優しい道づくり
- 道路の役割に応じた道づくり

① 国道307号 (長野バイパス)

●市街地の渋滞解消と新名神高速道路 信楽インターチェンジへのアクセス改善
整備イメージ

現況



「地域の声」との関連

- 広域交通ネットワークの整備
- 地域の問題を解決する道路整備
- 安全・安心、そして人に優しい道づくり
- 道路の役割に応じた道づくり
- 災害に強い道づくり

凡例

道路事業

- 改築事業 (Red line with 00)
- 交通安全事業 (Blue line with 00)
- 歩道整備 (Blue line with 00)
- 交差点改良 (Blue line with 00)

国事業

- (Pink line with 100)

市事業

- (Green line with 100)

- 高速・有料道路 (Thick black line)
- 国道 (Thin black line)
- 主要地方道・一般県道 (Dashed black line)
- J R 在来線 (Black line with cross-ticks)
- 私鉄線 (Black line with vertical ticks)
- 市町境 (Dashed black line)
- 県境 (Dashed black line with cross-ticks)
- 市役所 (Circle with dot)
- インターチェンジ (Blue circle)

5 竜王石部線 (菩提寺)

- 通学路の安全確保のため、歩道を整備



「地域の声」との関連

- 安全・安心、そして人に優しい道づくり

3 水口竜王線 (伴中山)

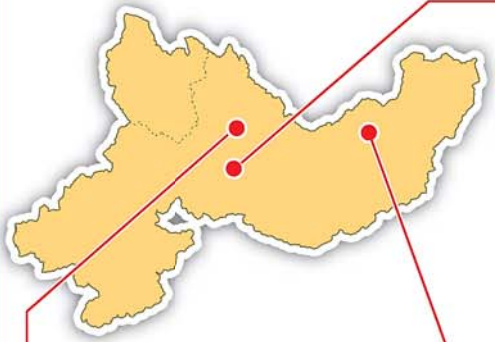
- 交通渋滞の緩和と通学路の安全確保のための交差点改良



「地域の声」との関連

- 地域の問題を解決する道路整備
- 安全・安心、そして人に優しい道づくり
- 道路の役割に応じた道づくり

アクションプログラム 2013 完了箇所 代表事例



❖ (都) 葛木竜法師線 (結幸高架橋)

- 幅員が狭く、通行が危険な踏切の立体交差化
- 新名神高速道路 甲南インターチェンジへのアクセス改善



❖ 水口甲南線 (水口橋)

- 市街地へのアクセス改善と交通渋滞の緩和のための橋梁拡幅



❖ 大河原北土山線 (青土)

- 通学路の安全確保のため、歩道を整備



地域別アクションプログラム(甲賀土木事務所)

地域の声

甲賀地域(甲賀市・湖南市)は、東西方向に新名神高速道路、国道1号、国道422号等が、南北方向には国道307号、彦根八日市甲西線等の幹線道路が通過する交通の要衝です。また、近年では国道1号栗東水口道路や水口道路の供用(平成28年3月)などもあり、企業の進出に拍車がかかっています。

しかし、一方でインターチェンジ等へのアクセス道路では未整備区間が残っています。また、渋滞を避ける大型車等が生活道路や通学路へ流入するなどの状況があり、安全・安心な歩行空間の確保および大型車の良好な通行環境の整備が望まれています。

アクションプログラムの見直しにあたり、平成29年8月から4回にわたり地域ワーキングを開催しました。ここでは、地域の課題の抽出やその課題を踏まえた今後の道路整備について、様々な立場の委員の皆様から意見を頂いてきました。これらを以下の5項目の「地域の声」として取りまとめ、今後の地域の道路整備における礎とします。

1. 広域交通ネットワークの整備

甲賀地域では新名神高速道路の開通や国道1号バイパスの供用により広域交通の利便性が向上していますが、地の利を活かしたさらなる企業誘致の促進や他地域との交流の拡大を図るため、インターチェンジへのアクセス道路、東西方向に比較して遅れている南北方向の幹線道路および鉄道駅へのアクセス道路の整備が望まれます。

2. 地域の問題を解決する道路整備

主要施設周辺の交通渋滞や通過交通の生活道路への進入、大型車両とのすれ違い時の危険性などの地域の問題を解決するため、インターチェンジ、鉄道駅、観光・福祉・医療施設へのアクセス道路や大型車の良好な通行環境の整備が望まれます。

3. 安全・安心、そして人に優しい道づくり

交通事故を減らす、無くすことをめざし、高齢者・子ども・障害のある方をはじめ、あらゆる人が安全・安心に利用できる道づくりが必要です。特に通学路や自転車通行の安全確保が望まれます。併せて、良好な道路環境を創出するためにも適正な維持管理が必要です。

4. 道路の役割に応じた道づくり

地域においては国道や県道、市道などがそれぞれの管理者により個別に整備されていますが、各道路管理者が相互に連携しながら道路の役割に応じた道路整備を進めることが必要です。

5. 災害に強い道づくり

近年、地震や大雨・大雪などによる自然災害が全国的に多発しています。災害の未然防止、早期復興に資するため災害に強い道づくりが必要です。

地域別アクションプログラム(甲賀土木事務所)地域ワーキング